

# 名古屋大学医学部附属病院

病院長名	小寺 泰弘
所在地	〒466-8560 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地
交通案内	JR 中央線「鶴舞駅（名大病院口）」下車 徒歩 3分 名古屋市営地下鉄「鶴舞駅」下車 徒歩 8分

## □ 病院の特徴

名古屋大学では従来より、卒前から卒後に至る一貫した臨床医学教育を実現するために、『総合医学教育センター』を設置するとともに、2008年度からは、初期研修後の専門育成も支援するために、『卒後臨床研修・キャリア形成支援センター』として機能充実を図り、研修サポート体制の拡充を行った。これにより、名大研修の特徴である関連病院と密接に連携した質の高い臨床教育をより円滑に推進できるようになった。すなわち、2年間の初期研修のみならず、後期・専門研修のキャリアパス整備とキャリア形成の積極的支援など、後期研修や専門研修においても、病院として責任を持った体制が確立したと言える。各種教育ツールを一括管理してシミュレーションによるトレーニングを進めるとともに、OJT (On the Job Training) を重視して臨床手技の習得が速やかに行われるように力を注いでいる。

## □ 研修プログラムの特徴

### 【研修プログラム名】

名古屋大学医学部附属病院麻酔科専門医研修プログラム

### 【研修目標】

周術期の患者の生体管理を中心としながら、救急医療や集中治療における生体管理、種々の疾病および手術を起因とする疼痛・緩和医療などの領域において、患者の命を守り、安全で快適な医療を提供できる麻酔科専門医を育成することで、国民の健康・福祉の増進に貢献する事を旨とする。

### 【研修期間】4年間。

すべての施設で、研修期間は原則1年間単位でローテートする。従って、専門研修基幹施設（名古屋大学医学部附属病院）と基幹研修施設では1年から3年間の研修を、専門研修連携施設においては1年から2年間の研修を行うことを原則とする。

### 【研修スケジュール(一例)】

#### 研修実施計画例

	A (名大病院)	B (市中病院)	C (ペイン)	D (集中治療)
初年度	名大病院	専門研修連携施設	名大病院	名大病院
2年度	名大病院	専門研修連携施設	名大病院	名大病院
3年度	専門研修連携施設	名大病院	名大病院 (ペイン)	専門研修基幹施設
4年度	専門研修連携施設	専門研修連携施設	専門研修連携施設	名大病院 (集中治療)



▲手術室内の麻酔科研修の現場

▲集中治療の研修



## □ 主な連携施設

愛知県がんセンター中央病院、あいち小児保健医療総合センター、大垣市民病院、春日井市民病院、公立陶生病院、国立循環器病研究センター、名古屋医療センター、小牧市民病院、半田市立半田病院、市立四日市病院、トヨタ記念病院、豊橋市民病院、名古屋セントラル病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院（旧 名古屋第一赤十字病院）、西尾市民病院、碧南市民病院、藤田医科大学ばんだね病院、国立成育医療研究センター、名古屋掖済会病院

## □ メッセージ

### 指導医（副病院長、麻酔科長・教授 西脇公俊）

本研修プログラムは地域の中核病院や特殊なミッションを持った20施設以上の病院群で構成され、全体病床数は12,000床以上、全症例数は35,000症例以上と豊富な症例数に恵まれている。所属する麻酔科指導医・専門医は常に最新の知識と技術を持つように努め、さまざまな経験を積んだ真に実力のあ



る麻酔科専門医を育成することにコミットしている。専攻医は必須麻酔症例のみならず重症心不全治療、心臓移植、肝臓移植、小児重症症例などの特殊症例の研修、麻酔科医が主体となって運営するClosed system集中治療部での研修、脊髄電気刺激装置埋込術など高度な治療も含むペインクリニックの研修、大学院進学と組み合わせた研修なども様々な選択が可能である。プログラム病院群を対象とした講演会の開催や、専門研修基幹施設では週2回レクチャーがあり、専攻医には多くの学ぶ機会が用意されている。研修施設の選択は、基本的に専攻医の希望を第一に考慮して、研修プログラム管理委員会で決定している。

## □ 募集要項

・採用予定人数	15人程度(※人数に上限はなし)
・給与/月額	月額約20万円に加え、該当する場合に手当(通勤手当、超過勤務手当、夜勤手当、特殊勤務手当(夜間診療業務手当等))を支給
・当直回数/月	約4~5回/月
・当直料/回	20,000円/回
・その他	平日日勤帯の外勤等(週1日まで)可 勤務時間等の設定により別の待遇もあり ※本科における給与体系のモデルケース(卒後4~5年目) 基本給+各種手当で、月額約58万円程度
・応募連絡先	担当者 田村 高廣 電話番号 052-744-2340 Eメール anesth@med.nagoya-u.ac.jp